



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 丸藤シートパイル株式会社  
 コード番号 8046 URL <https://www.mrfj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 七郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 宮下 典久  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3639-7649

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,870	6.7	541	55.0	699	49.6	357	61.9
2020年3月期第3四半期	25,594	4.9	1,203	3.5	1,389	2.9	939	4.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 442百万円 (53.1%) 2020年3月期第3四半期 944百万円 (25.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	99.90	
2020年3月期第3四半期	262.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	44,121	27,524	62.4
2020年3月期	43,967	27,404	62.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 27,524百万円 2020年3月期 27,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		90.00	90.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	4.0	710	50.5	940	43.3	470	57.4	131.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,000,000 株	2020年3月期	4,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	420,325 株	2020年3月期	420,270 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	3,579,717 株	2020年3月期3Q	3,579,817 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、依然として感染収束の見通しは立たず、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループが属する建設業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、働き手や資機材の確保が困難であることに加え、経済の先行き不安感から、主に民間設備投資を中心に工事の着工遅延や進捗遅れ、また一部では計画の見直しなども発生する状況となりました。

このような環境の下、当社グループは新型コロナウイルス感染防止に努めつつ、採算性を重視した営業活動に取り組むとともに、価格の改善や連結子会社との連携による工事受注の確保に注力してまいりました。加えて、持続的成長を図るべく、コア事業の収益力強化の一環として、保有建設資材の効率稼働を推進し、安定した賃貸収益力の確保に努めると同時に、作業効率の高い建設用重機の積極運用を軸に工事の受注・収益拡大を図ってまいりました。また、当社は経営資源の最適配置と経営の効率化を目的に、埼玉工場の保有資材を関東地区の他工場へ集約し、2021年3月に当該工場を閉鎖後、2021年4月より跡地を一般定期借地権設定契約に基づき長期にわたり賃貸することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は238億70百万円（前年同四半期比17億23百万円減）、営業利益は5億41百万円（前年同四半期比6億61百万円減）、経常利益は6億99百万円（前年同四半期比6億89百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億57百万円（前年同四半期比5億82百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は441億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億54百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が17億7百万円増加、受取手形及び売掛金と電子記録債権をあわせた売上債権が10億15百万円減少、建設資材が2億15百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は165億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して33百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務をあわせた仕入債務が4億21百万円増加、未払法人税等が3億80百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は275億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億20百万円の増加となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が79百万円増加、利益剰余金が35百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇した62.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は建設業界を取り巻く環境に左右されます。足元では首都圏再開発事業を中心とした民間の設備投資プロジェクトや国土強靱化計画の推進に向けた防災・減災を主体としたインフラ基盤整備による需要も見込まれておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、今後も工事の着工遅延や進捗遅れが予想されます。また、景気減速が続けば民間設備投資意欲の低下に伴う新規工事計画の見直しや中止も懸念されるため、受注における採算面の厳しさは今後も継続するものと予想されます。

2020年10月30日に公表致しました2021年3月期の通期業績予想は変更しておりません。なお、今後の情報収集等により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,167	3,875
受取手形及び売掛金	11,745	10,243
電子記録債権	1,670	2,157
商品	248	251
建設資材	17,477	17,262
仕掛品	27	30
貯蔵品	34	35
その他	218	208
貸倒引当金	△18	△24
流動資産合計	33,571	34,039
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,454	4,454
その他(純額)	2,272	2,010
有形固定資産合計	6,727	6,465
無形固定資産		
	272	152
投資その他の資産		
その他(純額)	3,430	3,497
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	3,395	3,463
固定資産合計	10,396	10,081
資産合計	43,967	44,121
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,800	7,369
電子記録債務	2,128	2,980
短期借入金	4,340	4,340
1年内返済予定の長期借入金	74	8
未払法人税等	453	72
引当金	460	145
その他	1,075	1,347
流動負債合計	16,330	16,264
固定負債		
長期借入金	1	—
退職給付に係る負債	26	28
その他	203	303
固定負債合計	232	332
負債合計	16,563	16,596

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,626	3,626
資本剰余金	5,206	5,206
利益剰余金	19,459	19,495
自己株式	△1,008	△1,008
株主資本合計	27,283	27,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	280
退職給付に係る調整累計額	△80	△74
その他の包括利益累計額合計	120	205
純資産合計	27,404	27,524
負債純資産合計	43,967	44,121

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	25,594	23,870
売上原価	21,284	20,224
売上総利益	4,309	3,646
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	1,460	1,439
賞与引当金繰入額	103	106
退職給付費用	29	50
その他	1,512	1,508
販売費及び一般管理費合計	3,106	3,104
営業利益	1,203	541
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	18	14
受取地代家賃	109	110
売電収入	52	52
その他	101	55
営業外収益合計	282	236
営業外費用		
支払利息	25	22
不動産賃貸費用	20	18
売電費用	31	28
その他	18	9
営業外費用合計	96	78
経常利益	1,389	699
特別利益		
固定資産売却益	2	60
投資有価証券売却益	—	8
受取保険金	54	—
特別利益合計	56	68
特別損失		
工場閉鎖損失	—	194
災害損失引当金繰入額	36	—
特別損失合計	36	194
税金等調整前四半期純利益	1,408	573
法人税、住民税及び事業税	385	121
法人税等調整額	83	94
法人税等合計	469	215
四半期純利益	939	357
親会社株主に帰属する四半期純利益	939	357

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	939	357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	79
退職給付に係る調整額	△7	5
その他の包括利益合計	5	85
四半期包括利益	944	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	944	442



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。